



**2025年3月期 第3四半期
決算短信補足資料**

2025年2月13日

寺崎電気産業株式会社
(証券コード：6637)

連結決算概要

- ✓ 売上面では、堅調に推移する造船市況を背景として船舶用システム製品が増加
- ✓ 利益面では、原材料価格の高騰や人件費上昇等による影響を受けるも、増収や為替の円安影響等により増加
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額の計上に伴い減少

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減額	増減率	為替影響額
売上高	38,184	41,350	+3,166	+8.3%	+1,661
営業利益	3,281	3,912	+631	+19.2%	+451
経常利益	3,899	4,331	+432	+11.1%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,053	2,981	▲71	▲2.3%	
E P S 1株当たり四半期純利益	234円33銭	228円83銭			
営業利益率	8.6%	9.5%			

《期中平均レート》

1US\$	143.33円	152.63円
1EURO	155.32円	164.88円
1ST£	179.58円	195.49円
1RMB	19.98円	21.16円



1

セグメント別概要 日本

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	16,899 (53.6%)	19,389 (50.8%)	19,349 (46.8%)	▲0.2%
セグメント利益	1,353	2,801	2,727	▲2.6%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	陸電供給システムが減少したものの、L N G運搬船向け等が増加
産業用システム製品	減少	国内グリーンエネルギー関連の発電プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが低調に推移
医療デバイス	減少	医療機器の新規設備投資が低調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が増加
機器製品	減少	欧州向けが堅調に推移したものの、国内の一部で在庫調整の影響が継続



2

セグメント別概要 アジア

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	10,111 (32.1%)	12,984 (34.0%)	16,506 (39.9%)	+27.1%
セグメント利益	771	1,004	1,517	+51.1%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	L N G 運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	船舶向けの換装工事が増加
機器製品	増加	中国船用市場及びシンガポール国内向けで堅調に推移 / マレーシア国内向けが増加

セグメント別概要 ヨーロッパ

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	4,491 (14.3%)	5,809 (15.2%)	5,494 (13.3%)	▲5.4%
セグメント利益	227	368	435	+18.3%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

機器製品	減少	欧州向けの一部及び中近東向けにおいて低調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	船舶向けブレーカの更新工事が堅調に推移

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 第3四半期	増 減
資産の部			
流動資産	48,381	52,063	+3,681
固定資産	19,662	20,383	+721
資産合計	68,043	72,446	+4,402
負債の部			
流動負債	15,301	15,844	+542
固定負債	5,950	6,295	+344
負債合計	21,252	22,139	+887
純資産の部			
株主資本	40,065	42,578	+2,512
その他の包括利益累計額	6,725	7,729	+1,003
純資産合計	46,791	50,307	+3,515
負債・純資産合計	68,043	72,446	+4,402

主な増減

「流動資産」

現金及び預金	+4,368
受取手形、売掛金 及び契約資産	▲2,014
棚卸資産	+1,228

「固定資産」

有形固定資産	+549
投資その他の資産 その他	+231

「流動負債」

支払手形及び買掛金	+535
電子記録債務	+212
1年内返済予定の 長期借入金	+324
未払法人税等	▲616
未払費用	▲322
その他の流動負債	+393

「固定負債」

長期借入金	+239
-------	------

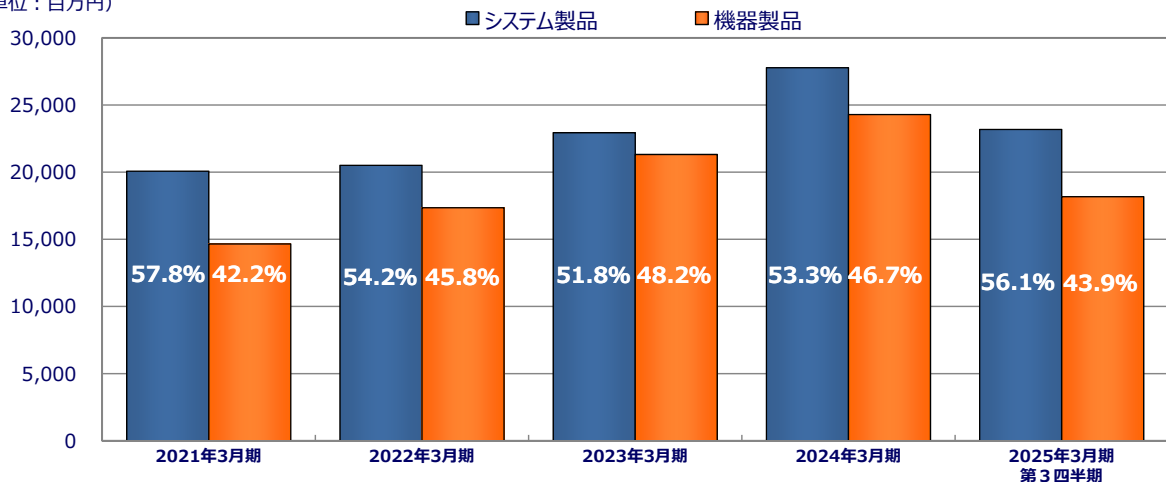
「株主資本」

利益剰余金	+2,512
「その他の包括利益累計額」	

為替換算調整勘定	+1,245
----------	--------

製品別 連結売上高比率

(単位：百万円)

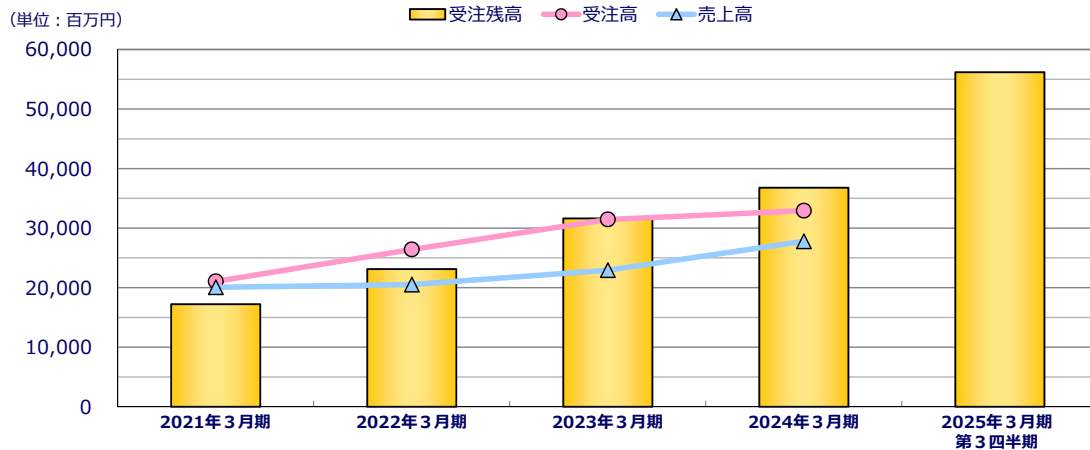


(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 第3四半期
システム製品	20,070	20,506	22,935	27,776	23,179
機器製品	14,653	17,349	21,317	24,288	18,171

システム製品 連結売上高・受注高・受注残高

✓ 活況な造船市況を背景に、船舶用システム製品の受注が大幅に増加

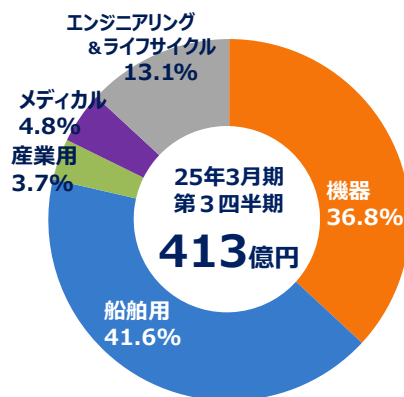


(単位：百万円)

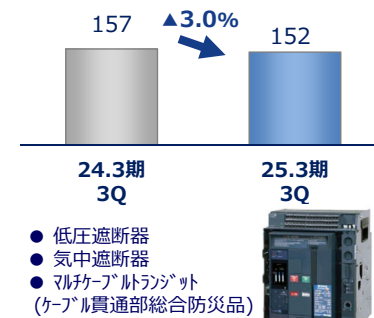
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 第3四半期
受注残高	17,218	23,113	31,629	36,778	56,183
受注高	21,041	26,401	31,451	32,925	42,584
売上高	20,070	20,506	22,935	27,776	23,179

製品別連結売上高 2025年3月期 第3四半期

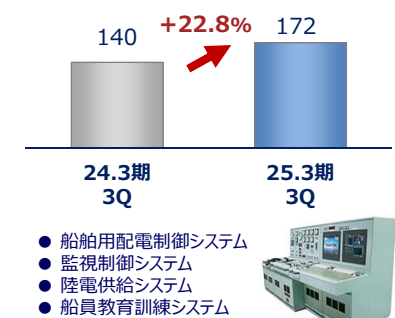
(単位：億円)



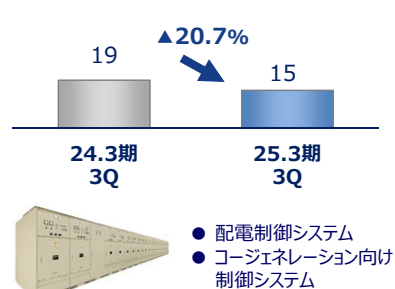
機器製品



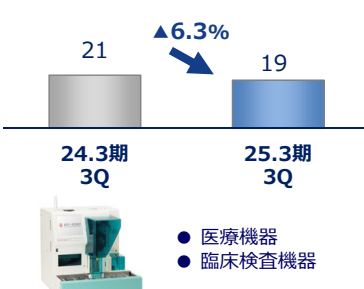
船舶用システム製品



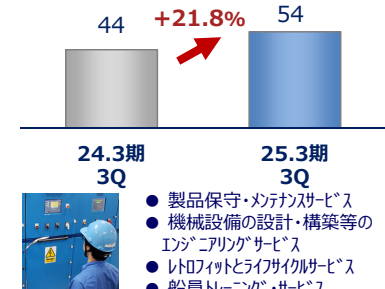
産業用システム製品



メディカルデバイス



エンジニアリング及びライフサイクルサービス



2025年3月期 連結業績予想 及び 配当予想（修正あり）

- ✓ 第3四半期において、船舶用システム製品の納期移動があったものの、エンジニアリング及びライフサイクルサービスが堅調に推移 & 為替影響により売上高はほぼ前回予想通り。利益面では、足元の推移に加え想定為替レート見直しにより、前回数値を上回る見込み。
- ✓ 業績動向を踏まえ、期末配当金を前回予想から5円増配。（16円→21円）

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期		対前回予想 増減率	対前年 増減率
		(11/13予想)	(2/13予想)		
売上高	52,065	55,520	55,510	▲0.02%	+6.6%
営業利益	4,921	3,990	4,910	+23.1%	▲0.2%
経常利益	5,773	4,410	5,470	+24.0%	▲5.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,014	3,070	3,830	+24.8%	▲4.6%
E P S 1株当たり当期純利益	308円15銭	235円63銭	293円96銭		
1株当たり配当金 (記念配当10円を含む)	36.00円	26.00円	31.00円		
営業利益率	9.5%	7.2%	8.8%		

**<2025年3月期
1株当たり配当金の内訳>**
 中間配当(実績) 10円
 期末配当(予想) 21円
 合計 31円

		(下期想定レート)	(第4四半期想定レート)
1US\$	144.59円	144.00円	152.00円
1EURO	156.75円	159.00円	157.00円
1ST£	181.71円	192.00円	189.00円
1RMB	20.13円	20.50円	21.00円

トピックス①

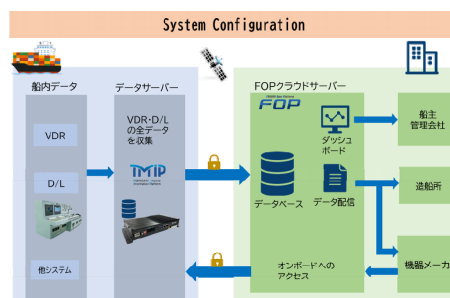
古野電気様とデータ活用基盤で連携、 実船でのサービス提供を開始



- ✓ 船舶のデータ収集に使用される当社のオンボードデータプラットフォーム「TMIP(TERASAKI Marine Information Platform)」と、古野電気株式会社様の船陸間一体で船舶運航を支援するデータ収集システム「FOP(FURUNO Open Platform)」を活用したデータモニタリングサービスの提供を開始しました。
- ✓ 新たに連携したシステムは、三菱鉱石輸送株式会社様所有のLNG燃料自動車専用船「WILD ROSE LEADER」において採用。保船業務の効率化、リモート監視など、船上データの活用を通じた船舶業務のDX化に貢献いたします。



自動車専用船「WILD ROSE LEADER」



TMIP×FOPシステム構成例

トピックス②

Osaka Metro「夢洲駅」電気室の 電気設備を納入、施工工事を完工

- ✓ 2025年1月19日、大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）様が、2025年4月開幕の大阪・関西万博（EXPO2025）会場の玄関口となる「夢洲駅」を開業されました。
当社は当駅の電気室に設置される高圧配電盤・低圧配電盤一式の製造に加え、搬入・据付工事から現地調整・検査までのエンジニアリング業務を完工いたしました。
- ✓ ピーク時最大約13万人/日の利用が見込まれる駅構内の照明や空調などの各種電気設備に対する電力供給を、当社の配電制御システムが一手に担います。



夢洲駅



産業用配電制御システム

本資料お取扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おください。